



X E A M

ELECTRIC MOBILITY

MINO

Owner's Manual

乗車前にこのマニュアルをよく読み、大切に保管してください。



TROMOX

Ver.01

2021年4月発行

宣言

1. 本書に記載されている写真、技術情報、データ、説明書、その他の情報は、販売前に確認したものです。
今後、製品の継続的な改善を行いお客様のご要望にお応えするため、必要に応じて予告なしに変更を加える事があります。
2. 当社の許可なくこのマニュアルの内容をコピー、保存、または転記することは禁止されております。
3. TromoxIは、当社以外が製造したパーツやアクセサリーの適合性と安全性を保証しません。必ず純正部品を使用してください。
当社以外が製造したパーツやアクセサリーの使用により生じた損失は、いかなる場合であっても責任は負いません。

序文

TROMOX MINOをご購入いただき、誠にありがとうございます。

このマニュアルでは、TROMOX MINOの基本的な操作とメンテナンスについて説明します。
乗車前にこのマニュアルをよくお読みください。

正しい操作とメンテナンスは、良好な乗り心地と良い性能を発揮するとともに、耐用年数を延ばすことが可能です。

当社の販売代理店で修理、整備が可能です。

このマニュアルのデータ、仕様、および情報は、Hangzhou Tromox Technology Co., Ltdにより決定し、変更および解釈の権利が帰属します。

この商品の技術的変更点については、販売会社である株式会社MSソリューションズのウェブサイトを参照してください。

<https://www.xeam.jp/>

それでは安全な旅をお楽しみください！

目次

ご使用前に	03
安全の為に	03
MINO主要諸元	05
使用方法の説明	06
■ 部品配置図	06
■ 銘板の位置と車両識別番号(VIN)	08
■ メーター表示	08
■ 左ハンドルスイッチ	09
■ 右ハンドルスイッチ	09
■ タイヤ	10
■ スプロケット&チェーン	10
■ バッテリーの取扱い	10

■ 充電器の使用について	13
■ 盗難防止アラームと起動	14
■ 乗車前点検	16
■ 車両操作	17
メンテナンス	19
トラブルシューティング	21
アフターサービス	23
電気回路図	25

ご使用前に

- 1.乗車前にこのマニュアルの情報を読み、完全に理解してください。その他の指示や警告に基づいてバイクが良好な状態にあるかどうかを確認してください。問題があった場合は、MSソリューションズまたは販売店まで連絡してください。
- 2.MINOの操作や機能に関して、警告、および注意について十分理解してからMINOを操作してください。
- 3.MINOに表示された警告ラベルをよく確認してください。
- 4.この製品内の回路を修理、分解、または交換することは固く禁じられています。修理または交換が必要な場合は、MSソリューションズまたは販売店まで連絡してください。
- 5.この取扱説明書は大切に保管してください。

安全の為に

自分や他の人の安全のために、次の指示に従ってください。

- 1.該当免許のない人は、このバイクを運転することはできません。
- 2.安全のため、乗車中はヘルメットを着用してください。
- 3.MINOは1人乗りです。
- 4.酔っている、疲れている、気分が悪いとき、または運転能力に影響を与える可能性のある薬を服用した後は、このバイクに乗らないでください。
- 5.積載量には、乗員の体重が含まれます。荷物の積載重量についても法律に準拠してください。
- 6.未舗装、濡れた路面では制動距離が長くなりますので、ご注意ください。決して急ブレーキ等の操作はしないでください。また、嵐や台風などの悪天候下では、このバイクに乗らないでください。

安全の為に

7. 停車中は不意の発進を避けるため、スタートボタンを押してバイクをパーキングモードにしてください。

8. バイクから離れるときは必ず電源を切り、小さな子供から遠ざけてください。

9. このバイクはリチウムイオン電池を使用しています。事故を防ぐために以下の項目を守ってください。

9.1 バイクを建物の緊急脱出区域、駐車場以外に駐車しないでください。

9.2 バッテリーを可燃物から遠ざけて充電してください。また、バッテリーが完全に充電されたらすぐに充電器を外してください。

9.3 バッテリーは適切に使用し、警告ラベルに注意してください。バッテリーは分解してはいけません。バッテリーを廃棄する際はMSソリューションズまでご相談ください。

9.4 充電器の使用法および警告を読んで理解してください。充電器を交換する際は、純正品を使う必要があります。

9.5 洗車手法を読んで理解してください。

10. 乗車前にチェックが必要な項目：

10.1 ヘッドライト、ウinker、テールライト、ブレーキランプ、ライセンスライト、ホーンが正常に作動するかを確認します。

10.2 フロントブレーキとリアブレーキが正常に作動するか、ブレーキキャリパーの固定ボルトが締まっているかを確認します。

10.3 タイヤの空気圧は正常かどうかを確認します。

10.4 ハンドルバーおよび前輪と後輪がしっかり固定されているかどうかを確認します。

10.5 リフレクターの損傷または汚れていないかを確認します。

10.6 バックミラーを確認します。乗車姿勢の時、後方10メートル以上の範囲を視認できる様に調整します。

異常があった場合、運転を中止しMSソリューションズまたは販売店まで連絡してください。

MINO 主要諸元

項目	仕様	項目	仕様
全長x全幅x全高	1500 x 725 x 925 mm	バッテリー容量	60V31Ah
ホイールベース	1020mm	航続距離 ※2	88km (30km / h、体重75kg)
車体重量 ※1	70kg	充電器の充電電流	6A
最大耐荷重	100kg	モーターの定格出力	600W
最高速度	50km / h	モーターの定格トルク	6.3N・m
登坂能力	15°	モーターの定格回転数	1800rpm
タイヤサイズ	フロント: 90 / 90-10 リア: 100 / 80-10	コントローラ	FOCベクトルコントローラ
ホイールサイズ	フロント: MT2.15-10 リア : MT2.50-10	コントローラの作動下限電圧	51V
モーター作動電圧	60V	コントローラの限界電流	45A
電装品作動電圧	12V		
バッテリー	リチウムイオンバッテリー		
セルサイズ	18650セル		

※1 バッテリー含む総重量。

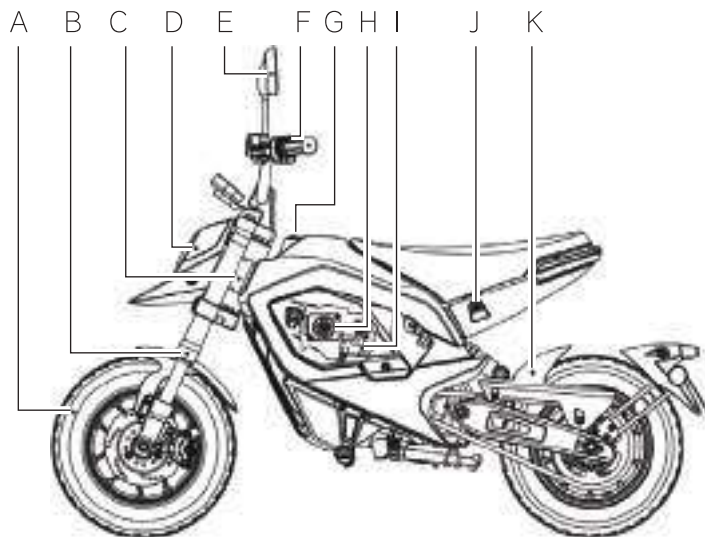
※2 体重75kgのライダーが時速30km/h、気温26℃で平地走行した場合。

※諸元値は理論値であり、実際は荷重、気温、風速、路面、運転の癖など様々な要因の影響を受けます。

※各車両の航続距離は、お客様のご使用環境(気象条件・体重・勾配・運転方法・車両状態・装備など)によって、大きく変化致します。航続距離のカタログ値は参考数値としてお考え下さい。

使用方法の説明

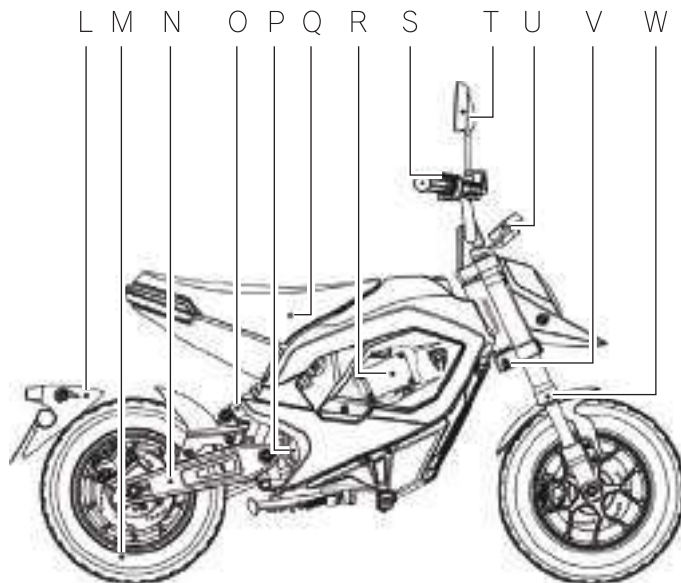
■ 部品配置図(左側面)



- | | | | | |
|--------------|----------------|-------------|---------------|------------|
| A. フロントホイール | B. フロントサスペンション | C. 認証ラベル | D. ヘッドライト | E. 左バックミラー |
| F. 左ハンドルスイッチ | G. 起動ボタン | H. 盗難防止アラーム | I. DC/DCコンバータ | J. シートロック |
| K. チェーンカバー | | | | |

使用方法の説明

■ 部品配置図(右側面)



L. リアフェンダー

M. リアホイール

N. スイングアーム

O. リアサスペンション

P. モーター

Q. シート

R. VCU(ピークルコントロールユニット)

S. 右ハンドルスイッチ / スロットル

T. 右バックミラー

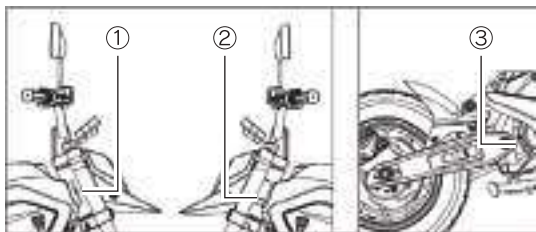
U. メーター

V. ハンドルロック

W. フロントサスペンション

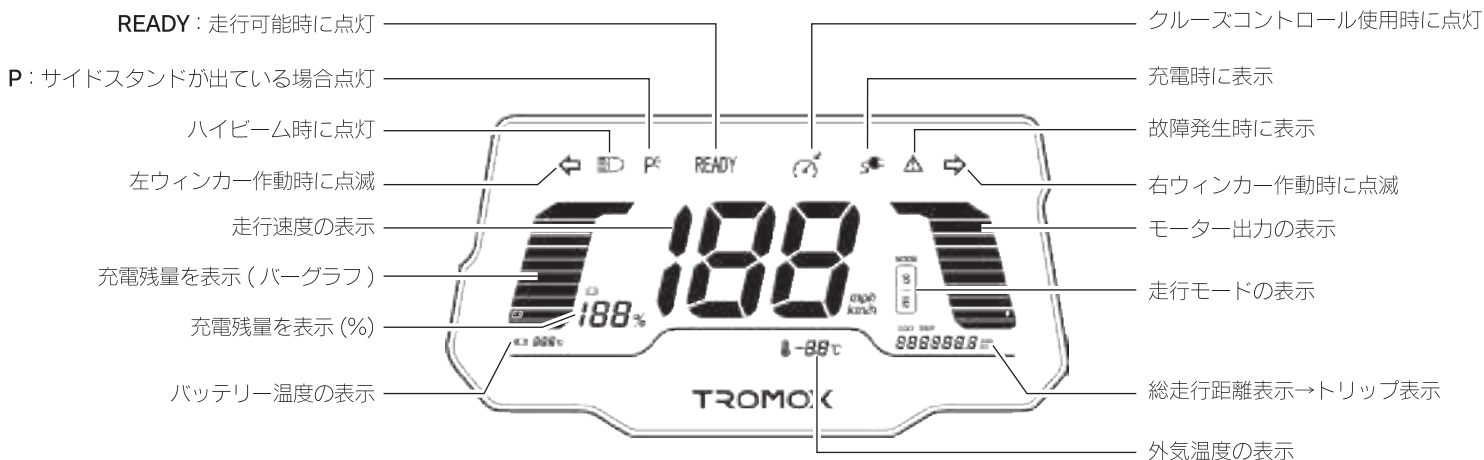
使用方法の説明

■ 銘板の位置と車両識別番号(VIN)



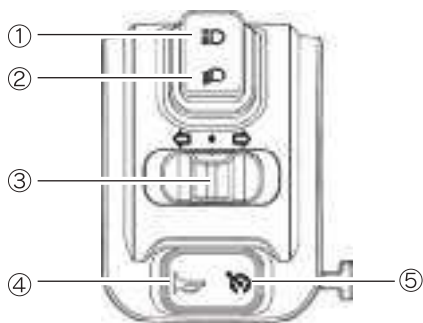
- ① VIN(車両識別番号)：ヘッドパイプ右側に打刻
- ② 認証ラベル：ヘッドパイプ左側に取り付け
- ③ モーターシリアルナンバー：モーターハウジング右側に表示

■ メーター表示



使用方法の説明

■左ハンドルスイッチ



①ハイビームボタン

②ロービームボタン

③ウインカースイッチ：

左に移動させると前後の左側ウインカーが作動し、右に移動させると右側ウインカーが作動します。中央に戻すと作動をキャンセルします。

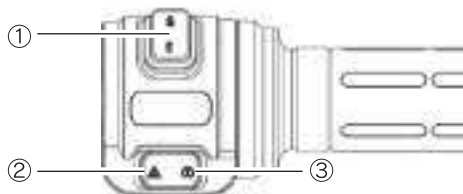
④ホーンボタン

⑤クルーズコントロールボタン：

(走行中に)押した時点でのスロットル開度が固定されるため、スロットルの操作が不要になります。

解除するにはブレーキ、スロットルの操作もしくは、もう一度ボタンを押します。

■右ハンドルスイッチ



①モードセレクトスイッチ：

S：スポーツモード(高速側) / E：エコモード(低速側)

②ハザードスイッチ

③READYボタン

使用方法の説明

■ タイヤ

フロントタイヤサイズ: 90/90-10	リアタイヤサイズ: 100/80-10
規定空気圧: 250kPa±25kPa	規定空気圧: 250kPa±25kPa

■ スプロケット&チェーン

スプロケット 歯数…前側:13T / 後側:46T
チェーンサイズ…420 / リンク数:94

■ バッテリーの取扱い

1. 車載状態での充電(図1)

① 車体左側のキーシリンダーにキーを挿し、右に回してシートロックを解除します。

② シートを取り外します。

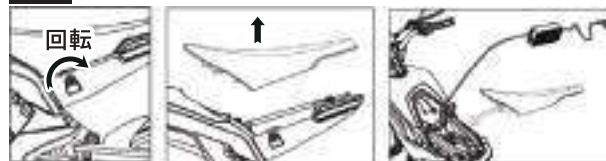
③ 充電器のコンセントを屋内電源に接続します。充電器の出力ソケットを車両の充電ポートに接続します。

充電中はインジケータランプが赤色に点灯します。

充電が完了するとインジケータランプは緑色に点灯します。速やかに電源からコンセントを抜いてください。

※延長コードは使用せず、単独でコンセントに接続してください。

図1

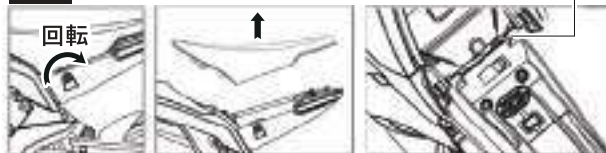


2. 車両から外して充電(図2)

① 車体左側のキーシリンダーにキーを挿し、右に回してシートロックを解除し、シートを取り外します。

ブレーカースイッチをOFFにします。

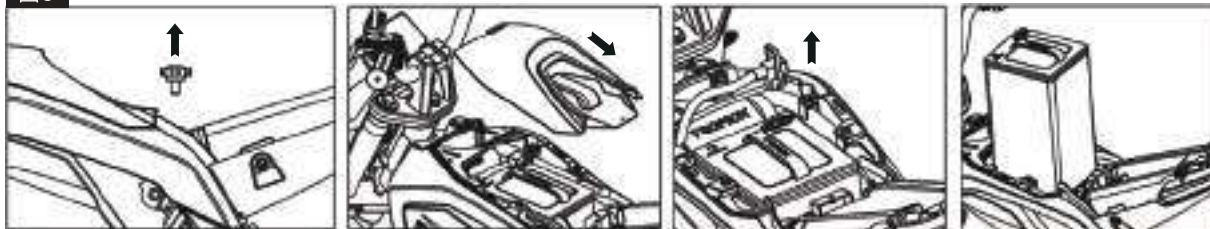
図2



使用方法の説明

②ボルトを外してトップカバーを後方に引きます。バッテリーケーブルを外します。バッテリーを持ち上げます。(図3)

図3



③充電器のコンセントを屋内電源に接続します。

充電器の出力ソケットをバッテリーに接続します。

充電中はインジケータランプが赤色に点灯します。充電が完了するとインジケータランプは緑色に点灯します。

速やかに電源からコンセントを抜いてください。(図4)

※延長コードは使用せず、単独でコンセントに接続してください。

※バッテリーを戻す手順は外す時と逆の手順で行います。

図4



使用方法の説明

3.注意事項

バッテリーを使用する前に取扱説明書をよくお読みください。ガイドラインに従わない場合、バッテリーの発火、破裂等の深刻な事態が発生します。

① バッテリーパックが被水、浸水しないようにしてください。

② 充放電は下記環境で使用してください。

・放電(走行)可能温度：-20～60℃、・充電可能温度：0～45℃

③ 長期間使用しない場合はバッテリーを取外し、適切に保管してください。車載したままだとバッテリーは放電していきます。

長期間保管する場合は、毎月充電状態を確認し50%まで充電してください。(最初にバッテリーを完全に放電してから2～3時間の充電を行ってください。)

バッテリーは乾燥した換気の良い場所に保管し、可燃物から遠ざけてください。

安全な保存期間と温度範囲は下記の通りです。

・1か月：-20～60℃、3か月：-20～45℃、1年：-20～25℃

バッテリーを1年以上保管したままにすると損傷し、保証が無効になる事があります。

④バッテリーの端子を短絡させないでください。充電器での逆極性接続や純正以外の機器との接続は禁止します。

⑤バッテリーを火中に投入しないでください。バッテリーは火、熱源、子供から遠ざけて保管してください。

バッテリーを落下させないでください。バッテリーを分解したり、改造等をしないでください。

これらの誤った取扱いにより深刻な事態が発生します。

⑥充電する際は正規の充電器であるか確認してください。

充電器を交換する際は純正品を購入する為にMSソリューションズまたは販売店まで連絡してください。

⑦バッテリーから出火している場合は、すぐに電源を切りFE-36消火器や大量の水で消化してください。乾燥粉末タイプは使えません。

⑧ご不明な点がございましたらMSソリューションズまたは販売店までお問い合わせください。t

使用方法の説明

■ 充電器の使用について

- 1.使用する前に、まず充電器の仕様を確認してください。違うモデル用の充電器は使用しないでください。
- 2.充電器は防水グレードIPX1です。屋外での充電はお止めください。
- 3.ケーブルが損傷している充電器は使用しないでください。
- 4.濡れた手で充電器を抜き差しすることは固く禁止されています。
- 5.熱源の近くや直射日光の当たる場所で充電器を使用しないでください。
- 6.充電器を可燃物や爆発性ガスの近くで使用しないでください。
- 7.充電器の吸気部/排気部を塞ぐことは禁止されています。充電器から10cm以上のスペースを残してください。
- 8.充電する前に、充電器の出力側のソケットが緩んでいないか確認してください。充電時には、最初に屋内電源にコンセントを接続します。次に、出力ソケットをバッテリーパックの充電ポートに接続します。
- 9.充電中のインジケータライトは赤色で、充電が完了すると緑色に変わります。
- 10.バッテリーが充電されていないとき、または充電が完了した後は、必ず充電器のコンセントを抜いてください。
まずバッテリー側のソケットを抜きます。次にコンセント側を抜きます。
- 11.乗車中は充電器を持ち運ばないでください。振動により内部の電子部品が破損する可能性があります。
- 12.屋内電源のAC電圧が充電器のAC入力電圧と一致していることを確認してください。使用する前に指示をお読みください。
誤った使用によって発生した損害は、すべて人為的で不適切な操作が起因するものとします。メーカーは責任を負いません。
- 13.充電器を自分で修理したり、分解したりしないでください。
- 14.電源コードや出力ケーブルを直接引っ張らないでください。

使用方法の説明

■ 盗難防止アラームと起動

1. 起動状態

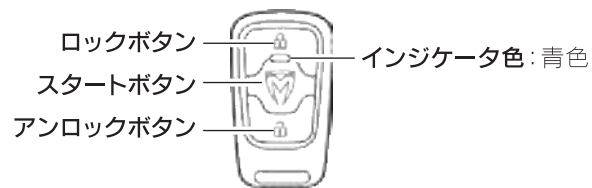
- ①電源ON: 起動ボタンが点灯します。
- ②スタンバイ/アンロック状態: 起動ボタンが点滅します。
- ③電源OFF/ロック状態: 起動ボタンが消灯します。



起動ボタン: 青色に発光する

2. 盗難防止アラームの機能

- ・機能: モーターロック、車両移動検出、盗難防止設定及び解除、リモコンの認識



3. リモコンの操作について

① 警報の作動有無

- ・リモコンを持って車両に近づくと(2メートル以内)リモコンが認識され、オーナーと判断されます。車両に触れても警報は鳴りません。
- ・リモコンを持たずに車両に近づくとオーナーと判断されず、車両に触れると警報が鳴ります。
アンロックボタンを押してアラームを解除します。

使用方法の説明

②盗難防止アラームの作動開始と解除

- ・ロックボタンを1回押すと、直ちに盗難防止アラームが作動開始になります。
ホイールの動き(移動)があった場合、警報が鳴ります。ただし、リモコンを認識している場合は警報は鳴りません。
- ・アンロックボタンを1回押すと、盗難防止アラームが解除されます。この時、車両はスタンバイ状態で起動ボタンは点滅しています。
起動ボタンを1回押すと車両の電源がONになります。(リモコンのスタートボタンを2回押す事も同様)
- ・もう一度起動ボタンを押すと電源が切れ、各ライトが点滅します。
- ・電源OFFから約15秒後、盗難防止アラームが自動で作動開始されます。作動開始時、各ライトが点滅します。
- ・電源OFFから15秒以内に起動ボタン(もしくはスタートボタン2回押し)を押すと、車両の電源を再びONにすることができます。

③起動ボタンを押さずに電源OFF

- ・車両の電源ONの状態、ロックボタンまたはアンロックボタンを押すと車両の電源はOFFになります。
- ・この場合、ロックボタンはアラームが作動開始に、アンロックボタンはアラーム解除の状態になります。

■ リモコンの作動可能な距離：≤50m

■ アラームを作動させない為には、

- ①ブレーカースイッチをOFFにする
- ②バッテリーケーブルを外す

4.各種サウンドレベル

- ・警報音：95dB(A) / m
- ・アラーム作動時：60dB(A) / 2m

使用方法の説明

■乗車前点検

1. ハンドルロックが解錠されているか、ハンドルが滑らかに転舵できるかを確認します。
2. ハンドルバーがしっかりと固定されているか、左右のハンドルスイッチが正常に作動するかを確認します。
3. バックミラーが固定されているか、鏡面に汚れがないかを確認し、乗車姿勢で後部10メートル以上が視認できるように調整します。
4. タイヤ空気圧が適正かを確認します。
5. タイヤ表面にひび割れや損傷がないか、トレッドの深さが0.8mm以下になっていないかを確認します。
6. 電源を入れ、メーターに故障警告がないことを確認します。
7. バッテリーが完全に充電されているか確認します。
8. ヘッドライト、テールライト、前後左右のウィンカーが作動するかを確認します。
9. ホーンが正常に機能するかを確認します。
10. ブレーキオイルが十分であるか、およびブレーキレバーとブレーキシステムが正常に作動するかを確認します。
11. 異常がある場合は、MSソリューションズまたは販売店まで連絡してください。

操作ガイド

■ 車両操作

1. ロック解除方法

リモコン



このボタンを押して、車両のロックを解除します。

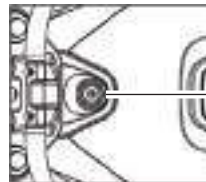
2. 起動方法

リモコンの場合



スタートボタンを2回押すと
車両の電源がONになります。

起動ボタンの場合

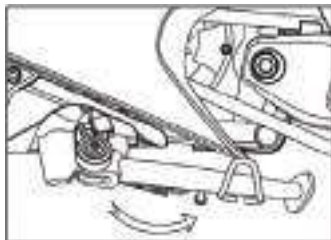


起動ボタンを押すと電源がONになります。

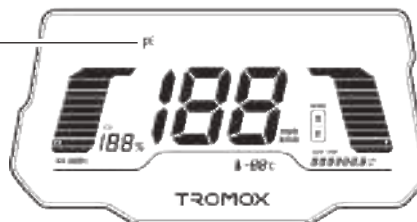
操作ガイド

3. 走行前の操作：

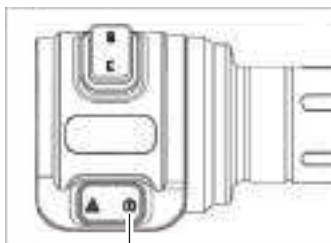
- ① ヘルメットを被ります。
- ② サイドスタンドを収納します。その後、メーターのサイドスタンドインジケータライト (P) が消灯します。



サイドスタンド
インジケータライト

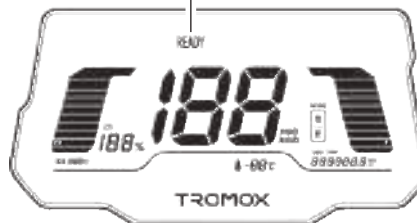


- ③ READYボタンを押してパーキングモードを解除すると、メーターのインジケータ「READY」が点灯します。
以上で車両を運転する準備が完了しました。
(READYボタンをもう一度押すと、「READY」表示灯が消灯し、車両がパーキングモードに切り替わります。)



READY ボタン

READY インジケータライト



※ 乗車する前に周囲の交通に十分に注意し、安全に運転してください。

メンテナンス

定期的なメンテナンスにより、車両の安全性と耐用年数を向上させることができます。

MSソリューションズまたは販売店にて以下の提案に従って、車両の定期的なメンテナンスと検査を行ってください。

1. 洗車

- ① 清掃する前に、必ずブレーカースイッチをOFFにしてください。
- ② 高い水圧や強い水流で車両を直接洗うことはおやめください。電気部品が損傷したり故障する可能性があります。
- ③ きれいな水と中性洗剤で車両を清掃してください。傷がつかないように洗車後は柔らかい布で拭いてください。
- ④ 清掃中に誤って電気系統に影響が出た場合は、水分を拭き取り、乾燥させてください。

2. 定期的な自己診断チェックリスト

No.	点検間隔	点検内容
1	1ヶ月	前輪と後輪の締め付けを確認してください。
2	半月	ブレーキキャリパーの締め付けを確認してください。
3	2ヶ月	ブレーキオイルのレベルを確認します。
4	半月	ブレーキパッドの状態とブレーキの利き具合を確認してください。
5	1ヶ月	ハンドルの締め付けを確認してください。
6	1ヶ月	チェーンの張り具合を確認してください。
7	半月	チェーンの注油状態を確認してください。(注油する前に必ず電源を切ってください。)
8	1ヶ月	配線が摩耗または損傷していないか確認してください。
9	1週間	車両に異音や部品の緩みによる音がないか確認してください。
10	1週間	タイヤ空気圧が250kPaか確認します。

メンテナンス

3.長期保管

- ① 保管する際はバッテリーの放電を防ぐためにブレーカースイッチをOFFにします。
- ② 保管場所は強い日光や雨にさらされないよう、車両を乾燥した涼しい場所に駐車してください。
もし屋外駐車をする場合はバッテリーを取り出して、車体カバーで車両を覆い、風に注意して保管してください。
- ③ 保管後に使用する場合は、使用前にバッテリーを完全に充電し、タイヤ空気圧を確認してください。
タイヤ空気圧を規定値にしてからご使用ください。

4.メンテナンス上の注意

- ① 部品およびコンポーネントの保守および修理は、MSソリューションズまたは販売店で行う必要があります。
その場合に使用できるのは純正部品のみです。
- ② Tromoxの提案に従った定期的なメンテナンスを行わなかった所有者に起因する障害または部品の損傷は、保証しません。
- ③ 所有者が自分で車両を分解したり、純正以外の部品を使用した場合、Tromoxは結果に対して責任を負いません。

トラブルシューティング

事象	点検間隔	点検内容
・車両全体の電源が入らない ・「起動ボタン」ライトが不灯 ・リモコンで起動できない	バッテリーが正しく接続されていない	正しくバッテリーを接続する
	バッテリー管理システム (BMS) による保護	短絡がないことを確認し、10分後に電源を入れ直す
	盗難防止アラームの故障	盗難防止アラームを交換する
	ブレーカースイッチがオンになっていない	ブレーカースイッチをオンにする
スロットルを回しても 走れない	サイドスタンドが収納されていない	サイドスタンドを収納する
	スタートボタンが押されておらず「READY」インジケータライトが消灯している	スタートボタンを押す
	バッテリーの充電残量が少ない	バッテリーの充電をする
	ブレーキレバーが正しい位置に戻っていない	レバー摺動部を潤滑し、正しい位置に戻す
	スロットルの故障	スロットルを交換する
	コントローラ接続部が緩んでいる	コントローラ接続部をしっかりと締め付ける
	スロットルの接触不良	スロットルの接触を調整する
	モーターホールプラグの接触不良	モーターホールプラグピンを調整する
	モーターの故障	モーターを交換する
	コントローラの故障	コントローラを交換する
走行速度が遅い、 走行できる距離が短い	バッテリーの充電残量が少ない	バッテリーの充電をする
	タイヤの空気圧が不足している	タイヤの空気圧を250kPaに調整する
	過負荷状態での運転	過負荷を避けて運転する
	ブレーキパッドが片あたりしている	ブレーキキャリパーをオーバーホールし、パッドの位置を調整する
	バッテリーが劣化している	バッテリーを交換する
ブレーキランプの不点灯	ブレーキスイッチの故障	ブレーキスイッチを交換する

トラブルシューティング

事象	原因	対応方法
バッテリーを充電することができない	充電器の出力ソケットの接触不良	出力ソケットが正しく差し込まれているか確認する
	違う充電器の使用	指定された純正充電器を使用する
	バッテリーの経年劣化または故障	バッテリーを交換する
ブレーキをかけているときに音が出る	ブレーキパッドが摩耗している	ブレーキパッドを交換する
	ブレーキディスクが緩んでいる	ブレーキディスクの締付ボルトを締める
ヘッドライトとテールライトが点灯しない	バッテリーケーブルが緩んでいるか、挿入されていない	バッテリーケーブルの挿入を確認する
	DC/DCコンバータの故障	DC/DCコンバータを交換する
	ライトユニットの断線	ライトを交換する
ウィンカーが点滅しない	DC/DCコンバータの故障	DC/DCコンバータを交換する
	コントロールスイッチの故障	スイッチを交換する
	ウィンカーの故障	ウィンカーを交換する
	ウィンカーの断線	ウィンカーを交換する
車両の電源は入るが、メーターが表示されない	メーターの故障	メーターを交換する
	DC/DCコンバータの故障	DC/DCコンバータを交換する
メーター内のバッテリーレベル、速度、温度、その他の情報が表示されない	VCUの通信モジュールの故障	VCUの交換をする
	盗難防止アラームの通信モジュールの故障	盗難防止アラームの交換をする
	コントローラ通信モジュールの故障	コントローラの交換をする
	メーターの故障	メーターの交換をする

アフターサービス

保証対象外項目

車両を使用する事により発生する消耗、摩耗については保証の対象外です。

保証適用から除外される項目

1. 指定された保証期間を超えている場合。
2. ユーザーが製品を正しく使用しないで故障、損傷、衝突、過負荷などの事象が発生した場合。
3. マニュアルの規定に従って製品を正しく運転、保守、調整していない場合。
4. 確認走行等でバイクが正常な状態にない事が発覚した場合。
5. ユーザーがバッテリーを適切に使用または保守していないため、バッテリーのパフォーマンスが低下したり、技術的な障害が発生した場合。たとえば、車両が未使用のままである、長期間駐車されている、定期的に充電されていないなどが該当する。
6. Tromoxlによって正式に承認されていない充電器またはアクセサリの使用。
これにより、車両の故障または性能の問題が発生した場合。
7. 許可されていない部品の分解により部品の故障やアクセサリの損傷を引き起こした場合。
8. Tromoxlによって承認されていない、車両に取り付けられたアフターマーケットアクセサリによって引き起こされた損傷、誤動作、またはパフォーマンスの問題が発生した場合。
9. ユーザーによる不適切な保管は、火災、化学的腐食が発生する可能性があります。
10. 不可抗力（地震、台風、洪水、火災、社会的出来事、大規模な事件、暴力犯罪、無責任な交通事故の偶発的な損失を含むがこれらに限定されない）によって引き起こされる障害または損害の場合。
11. Tromoxは、製品およびコンポーネントの保証サービスの日付を許可なく変更、破棄、または変更する権利を有する。

アフターサービス

12. 有効な保証証明書を提示できない場合。または、請求書もしくは領収書が製品とあっていない場合。
13. 製品の乗り心地、外観、色、騒音レベル、触覚、その他の主観的な理由に対する不満は保証の範囲外です。
14. 広告/プロモーション製品およびギフトは、保証範囲に含まれていません。
15. ブレーキパッドが摩耗している場合。
16. 盗難防止アラームのリモコンを無くしてしまった場合。
17. 購入前の欠陥を顧客に通知し、不適切な販売価格で製品を顧客に販売した場合。
18. 品質問題が発生した後のユーザーの不適切な行動によって引き起こされた車両の長期にわたる損傷。

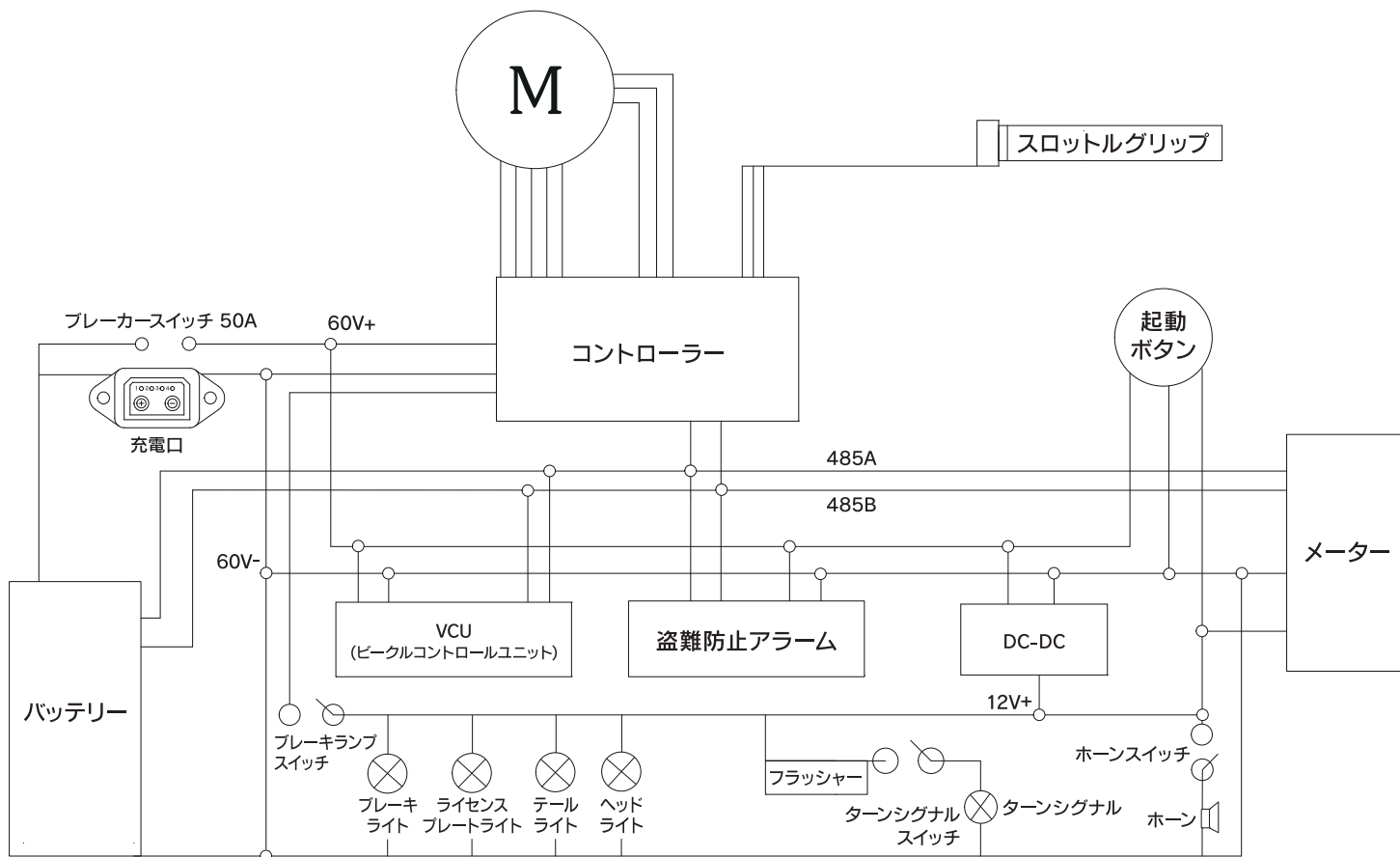
■ 車両の再販と保証

車両の保証期間内に、ユーザーが車両を他の人に転売した場合、車両の残りの保証は自動的に次のユーザーに譲渡されます。次のユーザーは、保証サービスを楽しむために関連文書を受領するものとします。

注意：

1. このマニュアルは車両の一部です。車両の転売後、保証の権利を確保するために、このマニュアルを次のユーザーに渡してください。
2. ユーザーが車両の保証期間内に保証サービスを受ける場合、ユーザーは本マニュアルの保証書の内容により保証サービスが提供されます。

電気回路図



お問い合わせ

バイクについてのお問い合わせ・ご相談は取扱店にお気軽にご連絡ください。

取扱店

TEL

製品についてお問い合わせ

**XEAM事業部
事務局**

TEL 092-292-5374 **MAIL** info_xeam@mssjapan.jp

受付時間 9:00-12:00 / 13:00-18:00 (月~金)

〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲5丁目6-24 第6 ガーデンビル 6F
販売元：株式会社 MS ソリューションズ

XEAM 公式ホームページ：<https://www.xeam.jp/> | MS ソリューションズ公式ホームページ：<https://www.mssjapan.jp/>

保証書

製品保証について

保証書に記載の対象車両の保証部位に、材料上もしくは製造上の不具合等による故障が発生した場合、無償で修復させていただきます。なお、弊社の指示、承諾を得ずに改造等を行った車両については全て保証対象外とさせていただきます。

※一般的な使用用途外（レース場での使用等）についても保証対象外とさせていただきます。

保証対象部品… フレーム・フロントフォーク・スイングアーム・ホイール・リヤサスペンション・ブレーキ・ステアリング・電動機・コントローラー・走行用バッテリー・その他メーカーが定めた主要部品。

保証適用外の範囲… 外装部品・シート・消耗部品（ブレーキパッド・ブレーキシュー・タイヤ・ゴム類・油脂類等）・ブレーキディスク・電球類・ヒューズ等）・その他メーカーが定めた部品

車両の譲渡について詳しくは、WEB ページをご覧ください。 <https://www.xeam.jp/>

1カ月点検について

新車登録または届け出をされてから1カ月を目安に行う点検です。この時期の点検は車両寿命に影響を与えることが多いことから、新車登録または届け出をされてから約1カ月（または1000km時）の点検を弊社提携店舗にて実施いたします。直営店（WEB販売含む）にてご購入いただいた場合は無料にてお受付いたします。有効期間を過ぎますと、有料となります。（有効期間：新規登録もしくは届け出をしてから約1カ月もしくは有効期間内に走行距離が1000kmを超える場合は、1000km走行時となります。）

● 1カ月の点検内容

- ・電動機の低速及び加速の状態の点検
- ・リム及びホイールディスクの損傷の点検
- ・ブレーキの利き具合の点検
- ・ブレーキロッド及びケーブル類の緩み、がた、損傷等の点検
- ・タイヤの空気圧亀裂、損傷、異状摩耗、溝の深さ
- ・ブレーキホース及びパイプの液漏れ、損傷、取り付け状況の点検

定期点検について

2007年4月1日より『道路運送車両法』の改正等により、2007年4月1日以降の新車登録車より、以下の内容での定期点検内容に変更となりました。

- ・6カ月点検の廃止
- ・走行距離加味点検とシビアコンディション点検の設定

点検の種類について

● 日常点検

法律に準じてユーザー様自身で日々の車両の状況、状態に応じてユーザー様自らが適宜行う点検です。走行前、充電前、洗車前等に行ってください。

- ・ブレーキ（前後）レバー（ペダル）の遊び、きき具合
- ・ブレーキ液の量（前）
- ・灯火装置および方向指示器
- ・低速・加速の状態
- ・タイヤの空気圧亀裂、損傷、異状摩耗、溝の深さ
- ・運行において異状が認められた箇所

● シビアコンディション点検

通常使用より過酷な状況で車両を使用した場合、部品の劣化や破損等が通常より早く進行してしまうケースがございます。それを早期に発見するために整備士が6カ月ごとに行う点検のこのをさします。シビアコンディションの目安、状況については以下の通りです。

- ・坂道や山道の走行が全走行の30%以上を占めている。またそれに伴うブレーキの使用が多い。
- ・走行距離が半年で3000km以上である。
- ・未舗装路や凸凹道の走行が全走行の30%以上を占めている。

※整備点検等でご不明な点は販売店、取次店にご相談ください。

保証有効期間について

店舗ご購入 : 登録日から1年 or 5,000km 走行時

弊社HPでご購入 : 出荷日から1年 or 5,000km 走行時

※年数、kmは早く到達した方を適用

ご購入日 年 月 日

氏名 様 TEL - -

〒

住所

登録番号

車名 車台番号

メンテナンス スケジュール

		1,000km または 1ヶ月 (いずれか早い方)	2,500km または 6ヶ月 (いずれか早い方)	5,000km または 1年 (いずれか早い方)	7,500km または 1年半 (いずれか早い方)	10,000km または 2年 (いずれか早い方)
コンポーネント	作業内容					
全般	I	✓	✓	✓	✓	✓
ステアリング、操作系	I/E	✓		✓		✓
ステアリングベアリング	I/C/L	✓		✓		✓
電気系統	I	✓	✓	✓	✓	✓
ライト、スイッチ	I/E	✓	✓	✓	✓	✓
サーキットブレーカー	I	✓	✓	✓	✓	✓
ホイールベアリング	I/E			✓		✓
ホイール、リム	I	✓	✓	✓	✓	✓
タイヤ	I*			✓		✓
ブレーキ全般	I/C/E	✓		✓		✓
ブレーキオイル	E					✓
フロントフォーク	I	✓		✓		✓
リヤショックアブソーバー	I	✓		✓		✓
スロットル	I/L			✓		✓
メイン/サイドスタンド	I/C/E	✓		✓		✓
チェーン	I/C/L	✓	✓	✓	✓	✓

I… Control (点検) E… 交換 C… 清掃 L… 給油 *Check: 溝深さ / 空気圧

【Controlについて】

機能が正しいか確認してください。清掃や給油の指示があれば追加で行わなければなりません。エラーや欠陥が検出された場合は、修復する必要があります。

※運行前点検は上記の表に関わらず行う必要があります。

メンテナンス レコード

日付	年 月 日	走行距離	
ノート			
販売店			

1ヶ月点検整備記録簿(電動車)

二輪車	該当なし	/	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

●参照事項

- ※1 各変速モードで作動させ、うなり音等の異音の有無を確認お願いいたします。
- ※2 ステム緩み止めナットの状態確認要。
- ※3 タイヤ溝深さを確認。
- ※4 タイヤ規定空気圧→(前)250kPa/(後)250kPa

電動機点検

- 本体 _____
 電動機の作動状態・異音の有無※1 低速・加速の状態
- 動力伝達装置 _____
 チェーン・ベルトの緩み
 スプロケット・プーリーの取付状態磨耗

ステアリング装置点検

- ハンドル _____
 操作具合
- フロントフォーク _____
 損傷
 ステアリングステムの取付状態※2
 ステアリングステムの軸受け部のがた

電気・保安装置点検

- 走行用バッテリー _____
 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無
- スイッチ類 _____
 灯火装置・方向指示器の作用
 ホーン・ハンドルロック装置の作用
 計器の作用

- その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品/記事等

ブレーキ点検

- ブレーキペダル及びブレーキレバー _____
 遊び ブレーキのきき具合
- ロッド及びケーブル類 _____
 緩み・がた・損傷
- ホース及びパイプ _____
 漏れ・損傷・取付状態
- リザーバタンク(ディスクブレーキ) _____
 ブレーキ液の量

足回り点検

- ホイール _____
 タイヤの空気圧※3 タイヤの亀裂・損傷の有無
 タイヤの溝の深さ・異常な磨耗※4
 ホイールのボルト・ナットの緩み
- ショックアブソーバー _____
 損傷・オイル漏れの有無

その他

- 外観樹脂パーツの損傷の有無

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年 月 日
整備完了日
年 月 日
タイヤの溝の深さ
F mm R mm
ブレーキパッド残量
F mm R mm
点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿 (電動車)

一輪車	該当なし	/	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6ヵ月点検整備…… +
 ● 12ヵ月点検整備…… +
 ※納車時点検は6ヵ月点検に準ずる

電動機点検

- 本体 _____
 電動機の作動状態・異音の有無 低速・加速の状態
- 動力伝達装置 _____
 チェーン・ベルトの緩み
 スプロケット・プーリーの取付状態磨耗

ステアリング装置点検

- ハンドル _____
 操作具合
- フロントフォーク _____
 損傷 ステアリングシステムの取付状態
 ステアリングシステムの軸受け部のがた

足回り点検

- ホイール _____
 タイヤの空気圧 タイヤの亀裂・損傷の有無
 タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
 ホイールのボルト・ナットの緩み
 フロントホイールベアリングのがた
 リヤホイールベアリングのがた
- サスペンションアーム _____ ■ ショックアブソーバー _____
 連結部のがた・アームの損傷 損傷・オイル漏れの有無

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

ブレーキ点検

- ブレーキペダル及びブレーキレバー _____
 遊び ブレーキのきき具合
- ロッド及びケーブル類 _____
 緩み・がた・損傷
- ホース及びパイプ _____ ■ リザーバタンク _____
 漏れ・損傷・取付状態 ブレーキ液の量
- マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ _____
 機能・磨耗・損傷
- ブレーキドラム及びブレーキシュー _____
 ドラムとライニングのすき間
 シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

- バッテリー _____
 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無
- 電気配線 _____
 接続部の緩み損傷
- スイッチ類 _____
 灯火装置・方向指示器の作用
 ホーン・ハンドルロック装置の作用 計器の作用

その他

- フレームの緩み・損傷 シャシ各部の給油脂状態

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年 月 日
整備完了日
年 月 日
タイヤの溝の深さ
F mm R mm
ブレーキパッド残量
F mm R mm
点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿 (電動車)

一輪車	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 か月点検整備…… +

● 12 か月点検整備…… +

※納車時点検は 6 か月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体 _____

電動機の作動状態・異音の有無 低速・加速の状態

■ 動力伝達装置 _____

チェーン・ベルトの緩み
 スプロケット・プーリーの取付状態磨耗

ステアリング装置点検

■ ハンドル _____

操作具合

■ フロントフォーク _____

損傷 ステアリングシステムの取付状態
 ステアリングシステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール _____

タイヤの空気圧 タイヤの亀裂・損傷の有無
 タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
 ホイールのボルト・ナットの緩み
 フロントホイールベアリングのがた
 リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム _____ ■ ショックアブソーバー _____

連結部のがた・アームの損傷 損傷・オイル漏れの有無

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー _____

遊び ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類 _____

緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ _____ ■ リザーバタンク _____

漏れ・損傷・取付状態 ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ _____

機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー _____

ドラムとライニングのすき間
 シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー _____

本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線 _____

接続部の緩み損傷

■ スイッチ類 _____

灯火装置・方向指示器の作用
 ホーン・ハンドルロック装置の作用 計器の作用

その他

フレームの緩み・損傷 シャシ各部の給油脂状態

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年 月 日
整備完了日
年 月 日
タイヤの溝の深さ
F mm R mm
ブレーキパッド残量
F mm R mm
点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿 (電動車)

一輪車	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 か月点検整備…… +

● 12 か月点検整備…… +

※納車時点検は 6 か月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体 _____

電動機の作動状態・異音の有無 低速・加速の状態

■ 動力伝達装置 _____

チェーン・ベルトの緩み
 スプロケット・プーリーの取付状態磨耗

ステアリング装置点検

■ ハンドル _____

操作具合

■ フロントフォーク _____

損傷 ステアリングシステムの取付状態
 ステアリングシステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール _____

タイヤの空気圧 タイヤの亀裂・損傷の有無
 タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
 ホイールのボルト・ナットの緩み
 フロントホイールベアリングのがた
 リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム _____ ■ ショックアブソーバー _____

連結部のがた・アームの損傷 損傷・オイル漏れの有無

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー _____

遊び ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類 _____

緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ _____ ■ リザーバタンク _____

漏れ・損傷・取付状態 ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ _____

機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー _____

ドラムとライニングのすき間
 シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー _____

本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線 _____

接続部の緩み損傷

■ スイッチ類 _____

灯火装置・方向指示器の作用
 ホーン・ハンドルロック装置の作用 計器の作用

その他

フレームの緩み・損傷 シャシ各部の給油脂状態

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年 月 日
整備完了日
年 月 日
タイヤの溝の深さ
F mm R mm
ブレーキパッド残量
F mm R mm
点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿 (電動車)

一輪車	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6ヵ月点検整備…… +

● 12ヵ月点検整備…… +

※納車時点検は6ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体 _____

電動機の作動状態・異音の有無 低速・加速の状態

■ 動力伝達装置 _____

チェーン・ベルトの緩み
 スプロケット・プーリーの取付状態磨耗

ステアリング装置点検

■ ハンドル _____

操作具合

■ フロントフォーク _____

損傷 ステアリングシステムの取付状態
 ステアリングシステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール _____

タイヤの空気圧 タイヤの亀裂・損傷の有無
 タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
 ホイールのボルト・ナットの緩み
 フロントホイールベアリングのがた
 リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム _____ ■ ショックアブソーバー _____

連結部のがた・アームの損傷 損傷・オイル漏れの有無

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー _____

遊び ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類 _____

緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ _____ ■ リザーバタンク _____

漏れ・損傷・取付状態 ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ _____

機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー _____

ドラムとライニングのすき間
 シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー _____

本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線 _____

接続部の緩み損傷

■ スイッチ類 _____

灯火装置・方向指示器の作用
 ホーン・ハンドルロック装置の作用 計器の作用

その他

フレームの緩み・損傷 シャシ各部の給油脂状態

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年 月 日
整備完了日
年 月 日
タイヤの溝の深さ
F mm R mm
ブレーキパッド残量
F mm R mm
点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿 (電動車)

一輪車	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6ヵ月点検整備…… +

● 12ヵ月点検整備…… +

※納車時点検は6ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体 _____

電動機の作動状態・異音の有無 低速・加速の状態

■ 動力伝達装置 _____

チェーン・ベルトの緩み
 スプロケット・プーリーの取付状態磨耗

ステアリング装置点検

■ ハンドル _____

操作具合

■ フロントフォーク _____

損傷 ステアリングシステムの取付状態
 ステアリングシステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール _____

タイヤの空気圧 タイヤの亀裂・損傷の有無
 タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
 ホイールのボルト・ナットの緩み
 フロントホイールベアリングのがた
 リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム _____ ■ ショックアブソーバー _____

連結部のがた・アームの損傷 損傷・オイル漏れの有無

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー _____

遊び ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類 _____

緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ _____ ■ リザーバタンク _____

漏れ・損傷・取付状態 ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ _____

機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー _____

ドラムとライニングのすき間
 シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー _____

本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線 _____

接続部の緩み損傷

■ スイッチ類 _____

灯火装置・方向指示器の作用
 ホーン・ハンドルロック装置の作用 計器の作用

その他

フレームの緩み・損傷 シャシ各部の給油脂状態

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年 月 日
整備完了日
年 月 日
タイヤの溝の深さ
F mm R mm
ブレーキパッド残量
F mm R mm
点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿 (電動車)

一輪車	該当なし	/	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6ヵ月点検整備…… +

● 12ヵ月点検整備…… +

※納車時点検は6ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体 _____

電動機の作動状態・異音の有無 低速・加速の状態

■ 動力伝達装置 _____

チェーン・ベルトの緩み
 スプロケット・プーリーの取付状態磨耗

ステアリング装置点検

■ ハンドル _____

操作具合

■ フロントフォーク _____

損傷 ステアリングシステムの取付状態
 ステアリングシステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール _____

タイヤの空気圧 タイヤの亀裂・損傷の有無
 タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
 ホイールのボルト・ナットの緩み
 フロントホイールベアリングのがた
 リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム _____ ■ ショックアブソーバー _____

連結部のがた・アームの損傷 損傷・オイル漏れの有無

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー _____

遊び ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類 _____

緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ _____ ■ リザーバタンク _____

漏れ・損傷・取付状態 ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ _____

機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー _____

ドラムとライニングのすき間
 シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー _____

本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線 _____

接続部の緩み損傷

■ スイッチ類 _____

灯火装置・方向指示器の作用
 ホーン・ハンドルロック装置の作用 計器の作用

その他

フレームの緩み・損傷 シャシ各部の給油脂状態

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年 月 日
整備完了日
年 月 日
タイヤの溝の深さ
F mm R mm
ブレーキパッド残量
F mm R mm
点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿 (電動車)

一輪車	該当なし	/	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 か月点検整備…… +

● 12 か月点検整備…… +

※納車時点検は 6 か月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体 _____

電動機の作動状態・異音の有無 低速・加速の状態

■ 動力伝達装置 _____

チェーン・ベルトの緩み
 スプロケット・プーリーの取付状態磨耗

ステアリング装置点検

■ ハンドル _____

操作具合

■ フロントフォーク _____

損傷 ステアリングシステムの取付状態
 ステアリングシステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール _____

タイヤの空気圧 タイヤの亀裂・損傷の有無
 タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
 ホイールのボルト・ナットの緩み
 フロントホイールベアリングのがた
 リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム _____ ■ ショックアブソーバー _____

連結部のがた・アームの損傷 損傷・オイル漏れの有無

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー _____

遊び ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類 _____

緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ _____ ■ リザーバタンク _____

漏れ・損傷・取付状態 ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ _____

機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー _____

ドラムとライニングのすき間
 シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー _____

本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線 _____

接続部の緩み損傷

■ スイッチ類 _____

灯火装置・方向指示器の作用
 ホーン・ハンドルロック装置の作用 計器の作用

その他

フレームの緩み・損傷 シャシ各部の給油脂状態

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年 月 日
整備完了日
年 月 日
タイヤの溝の深さ
F mm R mm
ブレーキパッド残量
F mm R mm
点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

ELECTRIC MOBILITY

X E V M

